

## 日本の株式市場

・下記で使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。

### 市場の動向

日本の株式市場の代表的な指数である東証株価指数(TOPIX)は、9日比で2.41%下落しました。  
日本株式市場は、日米の金融政策決定会合を翌週に控えて投資家が大きなリスクをとる姿勢は見られず、積極的な買いが見られない中で、ポジション調整の売りで下落する形となりました。原油価格の下落なども、下落要因となりました。週末には金融株中心の買い戻しの動きで上昇しましたが、週間では下落しました。

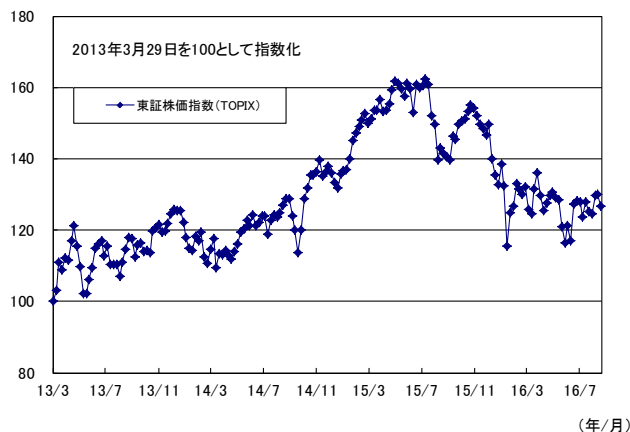
### 今後発表予定の主な経済指標など

- 21日 日銀金融政策

など

騰落率がプラスの場合:	先週の騰落率	先週の相場動向
騰落率がマイナスの場合:	<b>-2.41%</b>	
騰落率が横ばいの場合:		

<期間> 2013年3月29日～2016年9月16日



東証株価指数 (TOPIX)	2016/9/9	2016/9/16	騰落率
	1,343.86	1,311.50	-2.41%

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

東証株価指数 (TOPIX) の指数値及び TOPIX の商標は、株式会社東京証券取引所 (以下「東証」といいます。 ) の知的財産であり、株価指数の算出、指数値の公表、利用など TOPIX に関するすべての権利及び TOPIX の商標に関するすべての権利は東証が有します。

## 世界の株式市場

### 市場の動向

世界の株式市場の代表的な指数であるMSCI-KOKUSAI指数は、9日比円ベースで、0.95%下落しました。  
米国株式市場 (現地通貨ベース) は、週初、FRB (米連邦準備制度理事会) 高官によるハト派的な発言が好感され上昇しました。その後発表された一部の米経済指標が市場予想を上回ったことなどから、米早期利上げ観測が広がり、下落する局面もありましたが、週間では小幅に上昇しました。  
欧州株式市場 (現地通貨ベース) は、前週のEOB (欧州中央銀行) 総裁の発言を受け、金利が上昇したことなどから、下落して始まりました。週末も、独大手銀行が米司法省から市場予想を大きく上回る和解金を要求されたことなどを受け、下落しました。  
アジア (日本を除く) オセアニア株式市場 (現地通貨ベース) は、欧米金融市場における、各中銀の今後の金融政策に対する懸念や、原油価格の下落などを背景に、週間で下落しました。

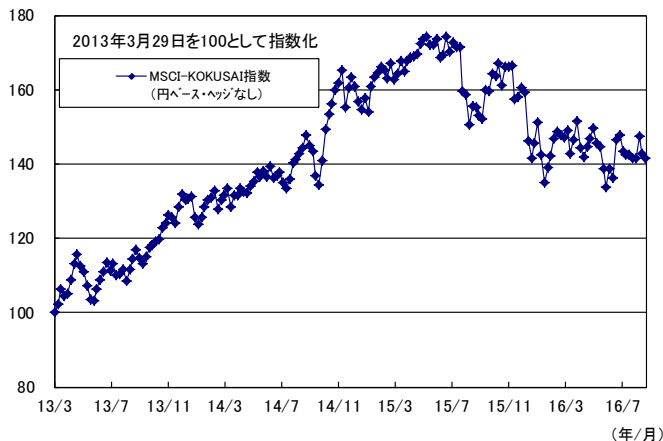
### 今後発表予定の主な経済指標など

- 21日 米金融政策
- 22日 米新規失業保険申請件数(9月17日までの週)
- 23日 米製造業PMI(購買担当者景気指数、9月)
- 23日 ユーロ圏製造業PMI(9月)

など

騰落率がプラスの場合:	先週の騰落率	先週の相場動向
騰落率がマイナスの場合:	<b>-0.95%</b>	
騰落率が横ばいの場合:		

<期間> 2013年3月29日～2016年9月16日



MSCI-KOKUSAI指数 (円ベース・ヘッジなし)	2016/9/9	2016/9/16	騰落率
	2,238.36	2,217.20	-0.95%
円/ドル	102.73円	102.26円	-0.46%
円/ユーロ	115.17円	114.15円	-0.89%

<指数出所> FactSetからのデータを基に野村アセットマネジメント作成  
<為替出所> 当該日ロンドン時間16時発表のWMOロイターの為替レートを基に野村アセットマネジメント作成

MSCI-KOKUSAI指数は、MSCIが開発した指数であり、同指数に対する著作権、知的財産その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

・下記で使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。

## 日本の債券市場

### 市場の動向

日本の債券市場の代表的な指数であるNOMURA-BPI総合は、9日比で0.03%上昇しました。

翌週の日銀の金融政策決定会合において、さらなる利下げと長短金利差拡大を促す形での国債購入方法が協議されるとの見通しが報道されたことで、短期金利が低下する一方、長期金利は上昇し、日本債券市場は下落して始まりまし。しかしその後は、金利上昇によって投資家の国債投資意欲が改善したことなどを背景に、日本債券市場は週間で上昇しました。

長期金利の指標となる10年国債利回りは、9日比で低下(価格は上昇)し、-0.039%となりました。

### 今後発表予定の主な経済指標など

- 21日 日銀金融政策 など

	2016/9/9	2016/9/16	変化幅
日本10年国債利回り*	-0.015%	-0.039%	-0.024%

※ブルームバーグ・ジェネリック10年国債利回り

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

騰落率がプラスの場合: 😊

騰落率がマイナスの場合: 😞

騰落率が横ばいの場合: 😐

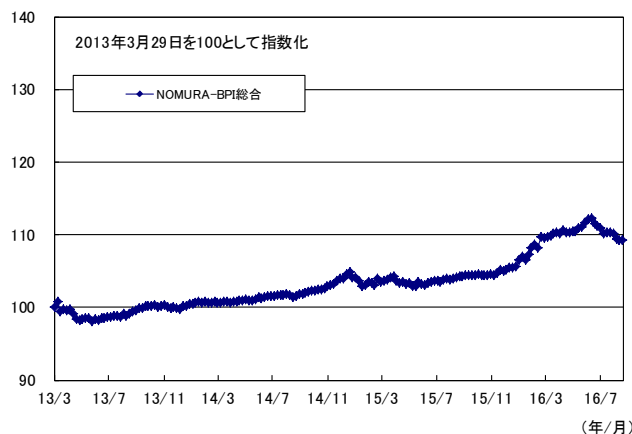
先週の騰落率

0.03%

先週の相場動向



<期間>2013年3月29日～2016年9月16日



NOMURA-BPI総合	2016/9/9	2016/9/16	騰落率
	383.00	383.12	0.03%

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

NOMURA-BPI総合は、野村証券株式会社が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他の権利は野村証券株式会社に帰属しております。また、野村証券株式会社が、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

## 世界の債券市場

### 市場の動向

世界の債券市場の代表的な指数であるシティ世界国債インデックスは、9日比円ベースで、0.98%下落しました。

米国債券市場(現地通貨ベース)は、8月のCPI(消費者物価指数)が市場予想を上回る伸びを示したことを受けて、債券利回りは上昇(価格は下落)しました。

欧州債券市場(現地通貨ベース)は、9月の独ZEW景況感指数や、7月のユーロ圏鉱工業生産指数が前月比で、市場予想を下回ったことなどから、ドイツ国債利回りは低下しました。

為替は、9日比で円/ドルレートは円高・ドル安、円/ユーロレートは円高・ユーロ安となりました。

### 今後発表予定の主な経済指標など

- 20日 米住宅建設着工件数(8月)
  - 21日 米金融政策
  - 22日 米中古住宅販売件数(8月)
  - 23日 ユーロ圏製造業・サービス業PMI(9月)
- など

	2016/9/9	2016/9/16	変化幅
米国10年国債利回り*	1.675%	1.693%	0.018%
ドイツ10年国債利回り*	0.011%	0.007%	-0.004%

騰落率がプラスの場合: 😊

騰落率がマイナスの場合: 😞

騰落率が横ばいの場合: 😐

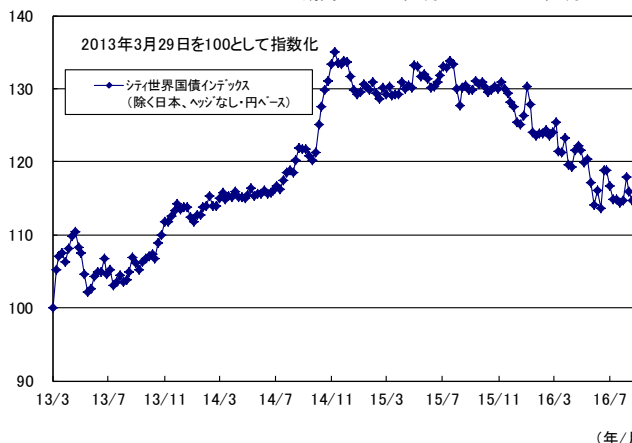
先週の騰落率

-0.98%

先週の相場動向



<期間>2013年3月29日～2016年9月16日



シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	2016/9/9	2016/9/16	騰落率
	416.37	412.28	-0.98%
円/ドル	102.73円	102.26円	-0.46%
円/ユーロ	115.17円	114.15円	-0.89%

<指数出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成  
<為替出所>当該日ロンドン時間16時発表のWMロイターの為替レートを基に野村アセットマネジメント作成

シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など指数に関する全ての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

※ブルームバーグ・ジェネリック10年国債利回り

・下記で使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。・REITとは、不動産投資信託証券を指します。

## 日本のREIT市場

### 市場の動向

日本のREIT市場(J-REIT市場)の代表的な指数である東証REIT指数は、9日比で0.42%下落しました。国内株式市場が下落したことなどが背景にあります。

東京証券取引所が8月のJ-REIT市場の投資部門別売買状況を発表しました。金額ベースでは、投資信託部門や銀行部門、生保・損保部門などが買い越しとなった一方、個人部門や海外投資家部門などは売り越しとなりました。

### 今後発表予定の主な経済指標など

- 21日 日銀金融政策

など

騰落率がプラスの場合: 😊

先週の騰落率

先週の相場動向

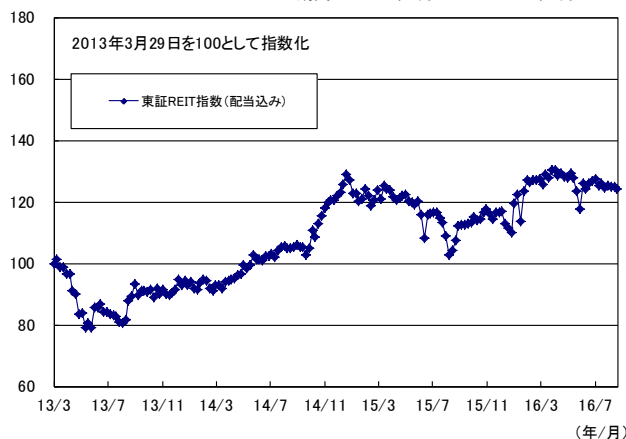
騰落率がマイナスの場合: 😞

-0.42%



騰落率が横ばいの場合: 😐

<期間> 2013年3月29日～2016年9月16日



東証REIT指数 (配当込み)	2016/9/9	2016/9/16	騰落率
	3,320.79	3,306.74	-0.42%

<出所> ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成  
東証REIT指数の指数値及び東証REIT指数の商標は、株式会社東京証券取引所(以下「東証」といいます。)の知的財産であり、東証REIT指数の算出、指数値の公表、利用など東証REIT指数に関するすべての権利及び東証REIT指数の商標に関するすべての権利は東証が有します。

## 世界のREIT市場

### 市場の動向

世界のREIT市場の代表的な指数であるS&P先進国REIT指数は、9日比円ベースで、1.84%下落しました。

米国REIT市場(現地通貨ベース)は、米長期金利が上昇し、米景気に対する影響が懸念されたことなどが背景となり、下落しました。

欧州REIT市場(現地通貨ベース)は、7月のユーロ圏鉱工業生産指数が前月比で市場予想を下回ったことなどから、下落しました。

豪州REIT市場(現地通貨ベース)は、豪株式市場が下落したことに連れて、下落しました。

### 今後発表予定の主な経済指標など

- 20日 米住宅建設着工件数(8月)
- 21日 米金融政策
- 22日 米中古住宅販売件数(8月)
- 23日 ユーロ圏製造業・サービス業PMI(9月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊

先週の騰落率

先週の相場動向

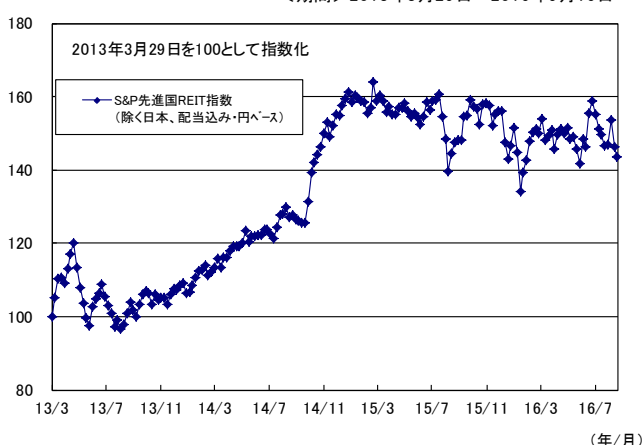
騰落率がマイナスの場合: 😞

-1.84%



騰落率が横ばいの場合: 😐

<期間> 2013年3月29日～2016年9月16日



S&P先進国REIT指数 (除く日本、配当込み・円ベース)	2016/9/9	2016/9/16	騰落率
	855.65	839.92	-1.84%
円/ドル	102.73円	102.26円	-0.46%
円/ユーロ	115.17円	114.15円	-0.89%

<指数出所> ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成  
<為替出所> 当該日ロンドン時間16時発表のWMロイターの為替レートを基に野村アセットマネジメント作成

S&P先進国REIT指数はスタンダード&プアーズファイナンシャルサービスズ エル エル シーの所有する登録商標です。

・下記で使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。

## 新興国の株式市場

### 市場の動向

新興国の株式市場の代表的な指数であるMSCI エマージング・マーケット・インデックスは、9日比円ベースで、3.04%下落しました。

中国株式市場(現地通貨ベース)は、当局による上場企業の資産再編の監視強化などを受けて下落しました。

ロシア株式市場(現地通貨ベース)は、原油価格の下落などを受け、下落しました。

ブラジル株式市場(現地通貨ベース)は、前下院議長の議員資格剥奪決定など国内政治の混乱を受けて、景気回復に向けた経済改革への不透明感が高まったことから、下落しました。

南アフリカ株式市場(現地通貨ベース)は、商品市況の下落や、米大手格付会社が同国国債の格付を引き下げる方向で検討しているとの報道などを受け、下落しました。

### 今後発表予定の主な経済指標など

- 22日 南アフリカ金融政策

など

騰落率がプラスの場合: 😊

先週の騰落率

先週の相場動向

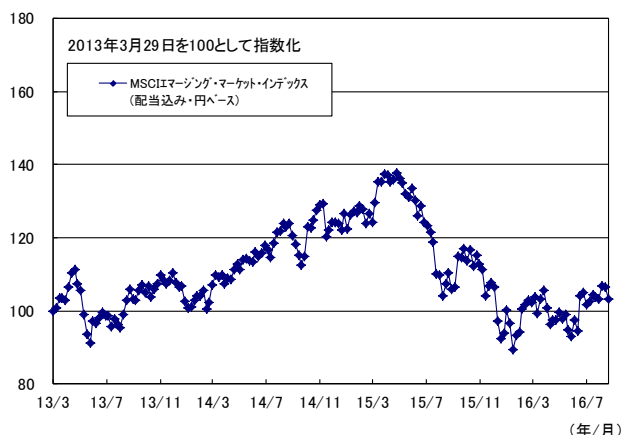
騰落率がマイナスの場合: 😞

-3.04%



騰落率が横ばいの場合: 😐

<期間> 2013年3月29日～2016年9月16日



MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み・円ベース)	2016/9/9	2016/9/16	騰落率
	1,623.97	1,574.68	-3.04%

<出所> FactSetからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した指数であり、同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

## 新興国の債券市場

### 市場の動向

新興国の債券市場の代表的な指数であるJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドは、9日比円ベースで、1.51%下落しました。

ポーランドでは、7月の経常収支の赤字額が市場予想を上回りました。このような投資環境の中、同国の債券指数は下落しました。

ロシアでは、8月の鉱工業生産指数が前月を上回りました。このような投資環境の中、同国の債券指数は下落しました。

タイでは、タイ中央銀行が政策金利の据え置きを発表しました。このような投資環境の中、同国の債券指数は下落しました。

### 今後発表予定の主な経済指標など

- 21日 南アフリカCPI(8月)
- 22日 トルコ金融政策
- 22日 南アフリカ金融政策
- 23日 メキシコ小売売上高(7月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊

先週の騰落率

先週の相場動向

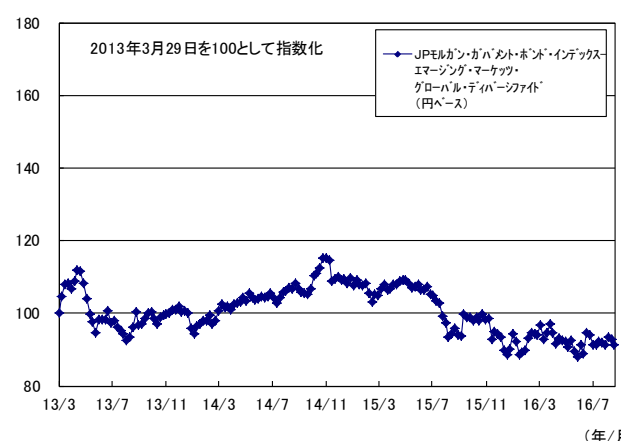
騰落率がマイナスの場合: 😞

-1.51%



騰落率が横ばいの場合: 😐

<期間> 2013年3月29日～2016年9月16日



JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)	2016/9/9	2016/9/16	騰落率
	234.00	230.47	-1.51%

<出所> ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (JP Morgan Government Bond Index-Emerging Markets Global Diversified) は、J.P.Morgan Securities LLCが公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

## 【野村アセットマネジメントからのお知らせ】

## ■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

## ■投資信託に係る費用について

2016年9月現在

<p>ご購入時手数料 《上限4.32% (税込み)》</p>	<p>投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。投資信託によっては、換金時(および償還時)に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。</p>
<p>運用管理費用(信託報酬) 《上限2.1816% (税込み)》</p>	<p>投資家はその投資信託を保有する期間に応じた費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 *一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 *ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。</p>
<p>信託財産留保額 《上限0.5%》</p>	<p>投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。</p>
<p>その他の費用</p>	<p>上記の他に、「組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧下さい。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

商号:野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

加入協会:一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料は、参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。